

ミナミハンドウイルカ個体識別データベースの公開開始@Bしっぷ

2003年から本格的に実施されているミナミハンドウイルカの個体識別調査。これまでに識別されている個体は約300頭にのぼります。この度、そのすべての個体の情報が収録されたデータベースが、Bしっぷ内で閲覧できるようになりました。個体ごとに、外見の特徴、確認されている海域、性別や出産履歴などを知ることができます。また、背ビレや尾ビレなどの各ヒレの特徴から個体を検索できる一覧表もご用意しました。小笠原の海でくらしているミナミハンドウイルカにはどんな特徴を持った個体がいるのか、また、海で出会ったイルカはどの個体だったのかなど、イルカの個体識別に興味を持たれた方は、ぜひデータベースを触りにBしっぷまでお越しください！



撮影した気になるイルカを
調べることができます！



ぜひ、お越しください！

ザトウクジラ定点目視観測結果報告～2023/24シーズン～

2023/24シーズンに実施した半年間（12月～5月）のザトウクジラ定点目視観測の結果をご報告します。12月前半の発見数は平均1頭程度でしたが、後半は約6頭と順調に増加しました。1月に入ると発見数は急増し、前半で平均約16頭、後半には30分間の観測で30頭以上確認される日もありました。その後も発見数は増え続け、2月前半には過去最高となる平均約30頭を記録しました。しかし、これがピークとなり、2月後半は高水準を保ちながらも、3月以降はどんどん減少し、4月前半には過去2シーズンを下回る平均約10頭となりました。4月後半はやや持ち直し、昨シーズンと同程度の数が確認されました。5月前半はほぼ毎日発見できましたが、後半には発見ゼロの日が増え、本観測での最終確認日は5月26日となりました。今シーズンは序盤からの増加が早かった上に、ピーク時の密度が高かったため、後半の減少も早く感じられたシーズンだったのではないのでしょうか。

